

平成30年度進行管理・評価シート
白河市歴史的風致維持向上計画（平成23年2月23日認定）
（最終変更平成31年3月28日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 歴史まちづくりの庁内連携・推進	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画の活用	2
2 景観計画の活用	3
3 屋外広告物について	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業 (小峰城跡災害復旧事業)	5
2 歴史的まちなみ修景事業	6
3 歴史的風致形成建造物保存修景事業	7
4 無電柱化調査事業	8
5 旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業	9
6 屋外広告物景観影響調査等事業	10
7 無形民俗文化財活動記録作成事業	11
8 しらかわ無形民俗文化財等支援事業	12
9 伝統的技術伝承事業	13
10 白河歴史教科書作成事業	14
11 ぐるり白河文化遺産めぐり事業	15
12 白河の歴史・文化再発見事業	16
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理(整備を含む)	17
2 文化財の保存・活用を行うための施設	18
3 文化財の防災	19
4 文化財の保存及び活用の普及・啓発	20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 歴史刻んだ蔵座敷再生 ほか2件	21
2 (報道等タイトル名)	22
3 より良い街づくり探る ほか2件	23
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 歴史的資源案内多言語化事業	24
2 歴史まちづくりニュースレターの発行	25

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	26
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

歴史まちづくりの庁内連携・推進

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

平成22年度からまちづくり行政と文化財保護行政の一元的な展開を推進するため、建設部都市計画課内に「歴史まちづくり室」を設置、平成24年度には、建設部内に「都市政策室」を新設し、まちづくり(歴史まちづくり・景観・中心市街地活性化)、都市計画、文化財各部門の連携によるまちづくり推進体制を強化した。また、「庁内推進本部」を設置し、円滑かつ効果的な事業推進を図ることとした。さらには、「白河市歴史的風致維持向上計画協議会」をはじめ、都市計画審議会、景観審議会、文化財保護審議会などの協力や福島県など関係部局との調整を行い、計画の実現を図るものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史まちづくり事業の実施にあたっては、都市計画課及び文化財課との協力・連携のもと事業を実施した。白河市歴史的風致維持向上計画協議会、白河市歴史と伝統を活かしたまちづくり庁内推進本部会議及び調整会議を開催し、計画の推進や事業の実施について協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

歴史まちづくりの推進にあたって、地域創生や観光振興への効果が求められるようになってきていることから、計画に記載された歴史まちづくり事業に加え、歴史的資源の活用や観光交流人口の拡大等の課題への対応についても協議する。

状況を示す写真や資料等

- 歴史と伝統を活かしたまちづくり庁内推進本部
 - ・調整会議(平成31年2月13日書面開催)
 - ・庁内推進本部会議(平成31年2月22日開催)

○協議事項

- ① 平成30年度における計画及び事業の進捗について
- ② 計画の変更(第8回/軽微な変更)について
- ③ 歴史的風致形成建造物の指定について
- ④ 平成31年度事業について



庁内推進本部会議(平成31年2月22日開催)

- 歴史的風致維持向上計画協議会
平成31年3月28日開催

○協議事項

- ① 平成30年度における計画及び事業の進捗について
- ② 計画の変更(第8回/軽微な変更)について
- ③ 歴史的風致形成建造物の指定について
- ④ 平成31年度事業について



協議会(平成31年3月28日開催)

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度
		現在の状況
都市計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 南湖公園区域内の一部について、歴史的風致にふさわしい用途の建築物等の整備を可能とするため、歴史的風致維持向上地区計画の策定を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴まち法第31条に基づき、平成28年7月1日に「南湖湖畔店舗地区歴史的風致維持向上地区計画」を導入した。平成29年度に地区計画内で初めて、既存店舗(市所有)を南湖の歴史的風致にふさわしい休憩施設とするため、外観の修繕、模様替を行う改修工事を行った。平成30年度には第2号となる、既存の店舗兼住宅(個人所有)の改築工事が行われ、民間では初めての事例となった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	南湖の歴史的風致を将来に渡り維持していくため、地区計画導入について広く周知を図るとともに、民間活力の積極的な活用による店舗群等の維持・向上により、行楽地としての賑わい創出を図る。

状況を示す写真や資料等

○歴史的風致維持向上地区計画による取組状況

日本の公園の先駆けとされる南湖公園の北側湖畔には、湖と一体となって南湖の歴史的風致を形成している店舗等が立地しているが、空き家となっていくことが懸念される。そこで、今後も南湖の歴史的風致を維持向上させていくため、歴史的風致維持向上地区計画を導入し、飲食店等を積極的に誘致する区域を設定した。

区域内においては、建築物の用途を緩和するとともに、南湖の歴史性と調和した統一感のある建築物とするため、形態意匠等の制限を強化している。

- ・用途緩和: 建物の1階部分に、白河地域の農産品等を提供する飲食店等の立地を誘導
- ・形態意匠等の制限強化: 屋根は平入りの形状、開口部については木製格子戸などに制限

○店舗兼住宅改築工事



改築前



改築後(H31.1.29日竣工)

評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

景観計画の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------	---

計画に記載している内容
 景観計画では、小峰城跡・白河駅周辺地区と南湖公園周辺地区について、景観計画重点区域に指定し、建築物等の形態意匠や色彩・高さなどについて景観形成基準を設けており、将来的には都市計画法の景観地区の指定を目指す方針である。また、城下町地区については、景観計画推進区域に指定し、建築物等の高さ等の景観形成基準を設け、景観協定の導入等、住民との協働によるルールづくりを積極的に進めることを目指す地区としている。
 今後は、歴史的風致維持向上計画の重点区域と景観計画との整合を図るため、景観計画推進区域を当該重点区域まで拡大する方針である。

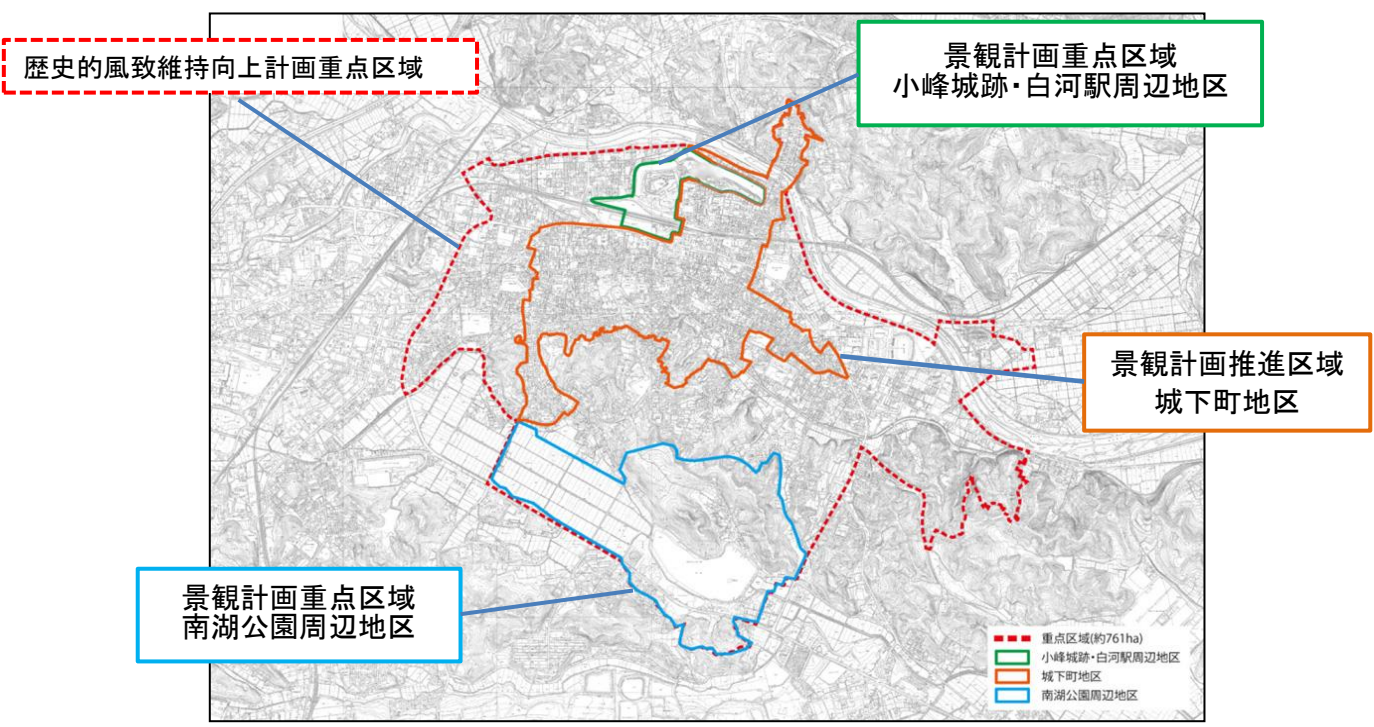
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観条例及び景観計画に基づき、建築物や工作物等の新築、増改築等の行為に関して適正な規制及び誘導を行い、景観計画区域内の良好な景観形成に努めた。
 ○平成30年度届出件数:40件(重点区域1件、推進区域2件、景観計画区域(重点・推進区域を除く)37件)
 また、平成30年度は、市内田町地区において景観まちづくり協議会が設立し協定締結に向けてワークショップを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 景観まちづくり協議会を設立したため、今後は協定締結を目標として活動を行っていく。
--	--

状況を示す写真や資料等



景観計画重点・推進区域図

- 平成30年度田町地区における協議経過
 市内田町地区において、国道294号白河バイパス整備事業に併せ、住民による景観まちづくり協定を締結することで景観まちづくり活動による良好な景観形成を図ることを目的として、景観まちづくり協議会を設立し協議を行った。
- 田町景観まちづくり懇談会
 - 第1回 平成30年4月26日(木) 対象:田町自治会住民
 - ・景観まちづくり及び国道294号白河バイパス整備事業について
 - 田町景観まちづくり協議会
 - 設立総会 平成30年6月21日(木) 対象:田町自治会役員
 - ・委員、規約等の承認について
 - 第1回 平成30年11月15日(木) 対象:田町自治会住民
 - 第2回 平成31年 1月31日(木) 対象:田町自治会住民
 - 第3回 平成31年 3月 8日(金) 対象:田町自治会住民
 - ・まちをよく知るための現況分析報告について
 - ・まちづくりのテーマ(ビジョン)について

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

屋外広告物について

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

屋外広告物については、屋外広告物法及び福島県屋外広告物条例に基づき無秩序な表示や設置を防ぐ美観・風致の維持、良好な景観形成等のため規制を行ってきたが、より本市の実情に即した屋外広告物の規制・誘導を図るため、平成28年4月1日から「白河市屋外広告物等に関する条例」を施行した。条例では、景観計画との整合性を図るため、景観計画重点区域等(重点区域、推進区域(城下町地区)、南湖から那須連峰への眺望に影響のある新白河駅周辺地区)において、屋外広告物の面積、位置、色彩等に市独自の許可基準を設けており、適切な規制・誘導を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

屋外広告物法及び白河市屋外広告物等に関する条例に基づき、屋外広告物の設置に関して適正な規制及び誘導を行い、美観・風致の維持及び良好な景観形成に努めた。

○平成30年度許可件数:251件(新規34件、更新203件、変更14件)
平成30年度は、北海道・東北ブロック屋外広告物行政担当者会議に出席した。県及び独自に屋外広告物条例を制定している市町村の担当者が参加し、様々な議題に対する意見交換を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

白河市屋外広告物等に関する条例施行に伴い、不適格となっている屋外広告物について、経過措置期間(令和4年3月31日)内に解消を図るため、市補助金の活用促進を図る。

状況を示す写真や資料等

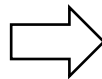
■平成30年度 北海道・東北ブロック屋外広告物行政担当者会議概要

1. 開催日時 平成30年11月16日(金) 14:00~17:00
2. 開催場所 郡山市民交流センター(ビッグアイ7階 第3会議室)
3. 参集者 34名
4. 内容
 - 講話
「屋外広告行政に関する施策等について」
国土交通省都市局 公園緑地・景観課
景観・歴史文化環境整備室 企画専門官
 - 討議
県や市町村から提案のあった様々な議題について、各自治体の現状や方針、課題などの意見交換を行った。

■屋外広告物改修等事業補助金制度を活用した事例
色彩が条例等の基準を超えていたため、基準内となるように改修



施工前



施工後

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業(小峰城跡災害復旧事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成23年度～
支援事業名	史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業補助金

計画に記載している内容
 平成23年度・平成24年度は、東日本大震災により崩落した石垣の記録化や石材の撤去作業を行いながら、崩落原因の究明と修復方法の検討を行った。平成25年度以降は、検証結果をもとに計画的に崩落・変形箇所の修復を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

東日本大震災により崩落・変形した石垣のうち、復旧対象となった15か所については、平成30年度までに積み上げを終了した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	石垣の修復にあたっては、伝統工法による技術研究も課題となっており、専門家で構成する石垣検討委員会を開催し、指導・助言を得ながら修復の検討を行っている。今後は、史跡整備にあわせて、近年、変形が顕著となった石垣の修復整備を実施する。

状況を示す写真や資料等



事業対象地



月見櫓跡 石垣復旧状況



築出櫓周辺石垣解体状況



築出櫓周辺石垣復旧状況



鎮護神山東面石垣養生状況



第28回石垣検討委員会(平成30年9月9日)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
歴史的まちなみ修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 良好な町並み景観の保全を図るため、景観計画に基づき「景観形成ガイドライン」を策定し、これに基づく建造物の修景等に対する支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度に策定した「景観形成ガイドライン」に基づき、建造物の外観修景等に対する支援を実施した。
 ○対象エリア:景観形成ガイドラインAゾーン(景観計画城下町地区重点推進区域)、金屋町谷津田川せせらぎ通り景観協定区域、白河城下景観まちづくり協定区域、白河門前通り景観まちづくり協定区域、横町景観まちづくり協定区域
 ○補助件数:平成23年度～29年度 23件、平成30年度 2件

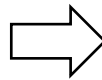
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的まちなみ修景事業のさらなる制度周知により、市補助金の活用促進を図る。

状況を示す写真や資料等

■ 遮へいのための造作(塀の設置)



施工前

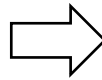


施工後

■ 建築物の修景(外壁の塗装)



施工前



施工後

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存修景事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成23年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容	旧奥州街道や歴史的街路の沿道に所在する歴史的な建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、所有者等が行う建造物の修理等に要する費用の一部を助成し、歴史的建造物の保全と活用を図る。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物に指定した建造物の修理等に対する支援について、NPO法人しらかわ建築サポートセンター(歴史的風致維持向上支援法人)との連携により実施した。
 ○平成30年度歴史的風致形成建造物指定件数:3件7棟(平成23年度からの累計45件111棟)
 ○平成30年度補助件数:5件5棟(平成23年度からの累計28件51棟)

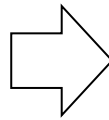
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致形成建造物の保存に対する所有者の理解が深まり、保存の気運は高まっている。今後は、街なか回遊のコンテンツとするなど、所有者や市民が建造物の価値を再認識できるような活用を検討していく。

状況を示す写真や資料等

屋根・外壁等改修(藤屋建造物群 ④店舗・住居)



施工前

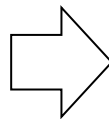


施工後

外壁等改修(河和家住宅建造物)



施工前



施工後

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
		現在の状況	
無電柱化調査事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 旧奥州街道である現在の国道294号は、鹿嶋神社祭礼(白河提灯まつり)の運行ルート、白河だるま市の開催場所等になっているが、電線・電柱類が祭礼時の運営支障及び景観阻害の要因となっている。このため、道路管理者、事業者等と無電柱化に関する調整を図りながら、現況及び整備手法等について調査・検討を行なう。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

事業実施に向けて、課題や今後のスケジュールについて道路管理者と協議した。また、今年度から無電柱化を実施する予定の地域の住民と今後のまちづくりの課題や方向性について意見交換を行う懇談会を開催している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業対象区間に適した工法を検討するとともに、無電柱化を含めた将来の地域ビジョンについて地域住民の間で協議を進めていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



事業位置図



白河提灯まつり運行の支障となっている電線・電柱



先進地視察(鹿沼市 平成30年7月25日)



住民との懇談会(平成30年12月4日)

○開催実績

- 第1回 30年6月12日 10人 「本町地区の将来像(方向性)を共有する」
- 第2回 30年7月25日 8人 「歴史・文化を活かした街道沿いの町並みを視察し、本町地区の将来像を考える」
- 第3回 30年8月21日 14人 「沿道でできる(できそうな)取り組み」
- 第4回 30年9月27日 15人 「通路をどのような形にしたいか」
- 第5回 30年12月4日 21人 「今後のまちづくりに向けた取り組み課題」
- 第6回 31年2月5日 12人 「地域づくりプランについて」

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------	--	---

事業期間	平成24年度～
------	---------

支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)、市単独事業(平成30年度～)
-------	---

計画に記載している内容	明治天皇や新選組ゆかりの歴史的遺産である旧脇本陣柳屋旅館建造物群(歴史的風致形成建造物)について、老朽化の激しい蔵座敷の復元整備に向け、整備後の利活用等の検討を行う。検討結果をもとに、市が土地・建物を取得し、史実に基づき復元整備を行い、まちなか回遊の拠点として活用する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

蔵座敷の活用実績 ○見学(無料)2,620人 ○貸館(有料、一部減免)12件274人 勸工場 現況調査	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
--	--------------------------

進捗状況 ※計画年次との対応 <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	蔵座敷については、より多くの方々が訪れるよう、貸館以外の活用方法について検討していく必要がある。勸工場については、今後の活用案とあわせて必要な改修等を検討していく。
--	--

状況を示す写真や資料等



旧脇本陣柳屋旅館蔵座敷・外観



旧脇本陣柳屋旅館蔵座敷・内観



ツーリズムガイドへの現地説明会
(平成30年4月26日)



貸館(宗祇白河紀行連句賞連句会)
(平成30年12月8日)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

屋外広告物景観影響調査等事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------------	---

事業期間	平成25年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業(効果促進事業))(平成25年度、平成28年度) 市単独事業(平成26年度、平成29年度～)

計画に記載している内容
 屋外広告物の表示について、現況調査や影響調査、問題課題の整理、規制のあり方の調査研究、事業者との合意形成活動等を行う。また、本事業により得た成果を反映させた独自の屋外広告物条例を制定するとともに、「屋外広告物ガイドライン」に基づく質の高い魅力的な広告物を誘導する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

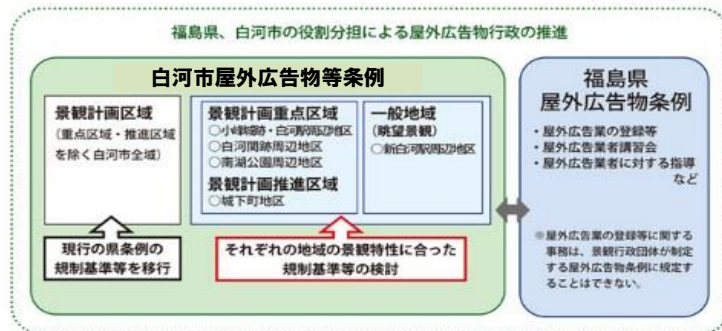
平成30年度は、平成28年度に策定した「白河市屋外広告物ガイドライン」について、屋外広告物業者等に対し窓口等で広く周知を図り、魅力ある屋外広告物の検討・作成・設置を促した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	白河市屋外広告物ガイドラインの周知を図り、魅力ある屋外広告物の設置を促進し、良好な景観形成を目指す。
--	--

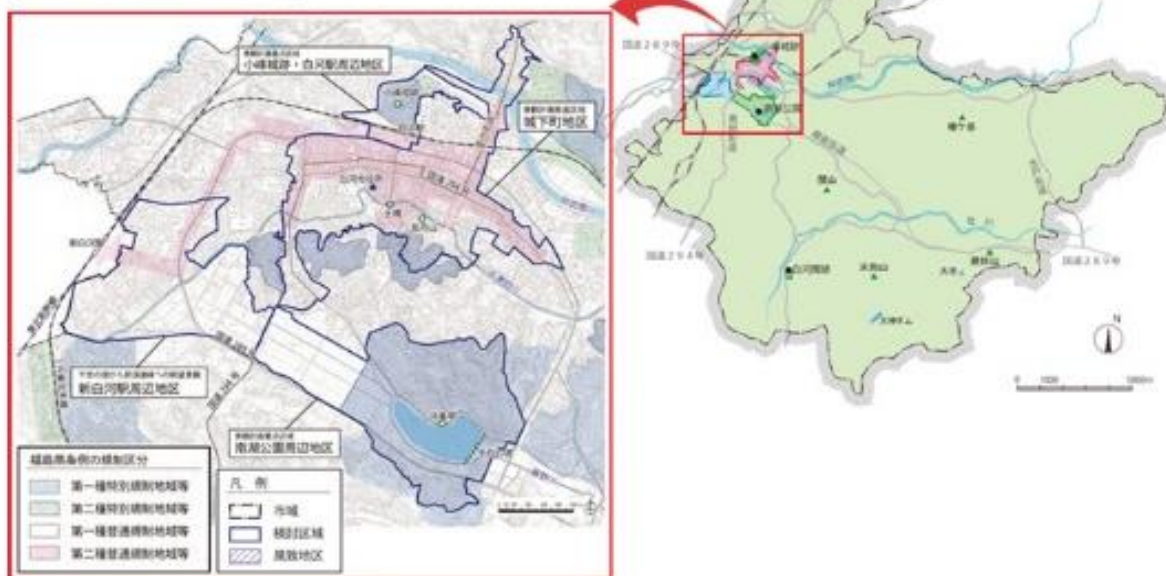
状況を示す写真や資料等

■白河市屋外広告物等に関する条例



平成29年3月策定

■対象区域



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

無形民俗文化財活動記録作成事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域に根差した民俗・芸能活動は、住民の生活の一部を形作っていたものであることから、現状での活動内容について、詳細な調査を行い、活動記録の保存を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

民俗・芸能活動について、活動内容の詳細な調査を行うとともに、写真・映像による活動内容の記録も行った。(17団体)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

夜間に行われる活動については、機器の精度の問題もあり、新たな記録化の方法を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



関辺さんじもさ踊り(白河地域)



河東田牛頭天王祭(表郷地域)



下新城キューリ天王(大信地域)



板倉の天道念仏(東地域)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

しらかわ無形民俗文化財等支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------	---

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 無形民俗文化財の保存団体等を対象に、民俗芸能等に用いる用具類の新規購入や修繕、行事の実施公開に対して財政支援を行うとともに、本事業を周知し、支援団体の拡充を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

無形民俗芸能等活動は、後継者不足が加速し活動停止となる事例が増加しているため、申請に基づき調査を行い、道具等の補修・購入や活動の財政的支援を行った。(14団体)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各団体の要望を把握した上で、より適切な支援となるよう努めたい。
--	---------------------------------

状況を示す写真や資料等



奥州白河念仏踊り(白河地域)
大和田自治会:行事实施支援



表郷金山天神神社祭礼(表郷地域)
天神神社氏子総代ほか:備品修理・購入



十日市ちょうちん祭り(大信地域)
十日市町内会:行事实施支援



釜子の盆踊り(東地域)
釜子青年統一会:行事实施支援

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
	項目	現在の状況

伝統的技術伝承事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------	---

事業期間 平成24年度～

支援事業名 歴史的風致維持向上推進等調査(平成24年度、平成25年度)、市単独事業(平成26年度～平成28年度)、歴史的風致維持向上支援法人単独事業(平成29年度～)

計画に記載している内容 歴史的な建造物の修理等に際し、伝統工法に係る材料調達や職人不足の課題が浮き彫りとなったことから、地域の材料、地域の職人、地域固有の工法で修理する持続可能な修理システムを構築するため、モデル修理工事の実施や専門家を招いた研究会の開催等により、修理工法の開発や職人等の人材育成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上支援法人であるNPOLしらかわ建築サポートセンターが主体となり、旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業において修復工事を行った蔵座敷を題材に伝統的工法に関する研修会を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致形成建造物保存修景事業と連携し、伝統工法による修復等が活用できるよう普及・啓発に努める。
--	---

状況を示す写真や資料等

○平成30年度 伝統的技術伝承事業研修会

開催日時 平成31年2月27日(水) 午後1時30分～3時30分

場 所 マイタウン白河(中会議室)／現地

テ ー マ 旧脇本陣柳屋旅館蔵座敷修復工事報告

講 師 NPOLしらかわ建築サポートセンター理事 深谷 義明

参加者 37名

伝統的技術伝承事業研修会のご案内
 ≪旧脇本陣柳屋旅館蔵座敷≫

旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業においての修復工事を行った蔵座敷を題材に、伝統工法、改修工事の具体的な内容や学び、現場を見学しましょう。

日 時：平成31年2月27日(水) 午後1:30～3:30

場 所：講習会 マイタウン白河2階中会議室
 現場見学 旧脇本陣柳屋旅館建造物群

講 師：しらかわ建築サポートセンター 理事 深谷 義明

旧脇本陣柳屋旅館建造物群
白河市の歴史的風致形成建造物群6群に指定されている建造物。江戸時代に建築された蔵座敷であり、明治14年に明治天皇の宿泊所になった等の価値を持つ。蔵座敷は3層あり、一層高の屋根は瓦葺きで、黒い漆喰、漆喰、漆喰を施した本格的な蔵座敷空間となっている。



お問い合わせ
しらかわ建築サポートセンター
Tel: 0248-23-8088

主催：特定非営利活動法人 しらかわ建築サポートセンター
 共催：(一社)福島県建築士事務所協会 県南支部



説明を聞く参加者
 上:マイタウン白河
 下:現地

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況

白河歴史教科書作成事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業(効果促進事業))(平成24年度、平成26年度)
市単独事業(平成25年度～)

計画に記載している内容 白河の歴史と伝統に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため、歴史の手引きの製作を行う。さらには、「(仮称)しらかわ検定」の開催を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

白河歴史の手引き「れきしら」入門編及び上級編を有料販売することにより周知を図った。市内の小学校1年生から中学校3年生を対象に行われている「白河の歴史・文化再発見事業」においても「れきしら」を活用し、白河の歴史と伝統に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図った。また、「れきしら」を活用し、「しらかわ検定」を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	白河の歴史と伝統への興味を多くの人に持ってもらうため、白河歴史の手引き「れきしら」の活用や「しらかわ検定」の受験者数を増やすとともに、検定合格者の活躍の場を提供するなど、更なる取組みが必要となる。

状況を示す写真や資料等

【れきしら】



【販売実績】

年度	入門編	上級編
H25	492	-
H26	200	-
H27	355	577
H28	275	208
H29	527	292
H30	380	356
累計	2,229	1,433

左: 入門編(平成24年度作成)
右: 上級編(平成27年度作成)

【しらかわ検定】



告知ポスター
(平成30年10月1日から掲示)



試験の様子
(3級/平成31年1月26日実施)

日時: 平成31年1月26日(土)
3級 10:30~11:20
2・1級 13:30~14:20

会場: 東京第一ホテル新白河

目的及び実績:
本市の歴史に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため実施。白河の歴史に興味のある小学生から80代の方まで、幅広い年代の方が受験した。市民だけでなく、市外、県外からの受験者もいた。

級	受験人数	出題範囲	合格基準
3級	90名	入門編	50問中35問
2級	66名	上級編	// 40問
1級	27名	入門編・上級編	// 40問

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
	項目	現在の状況

ぐるり白河文化遺産めぐり事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------------	---

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域の歴史的・文化的資源の価値を再認識する機会を創出するため、城下町ゾーンの寺社を中心に、あわせて歴史的・文化的資源をチェックポイントとするスタンプラリーを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

街なかにある寺社などの歴史的・文化的遺産をめぐるスタンプラリーを年2回開催し、市内の小中学生への参加を促した。また、スタンプラリー期間中、ぐるり白河文化遺産ツアーを開催した。平成30年度は、戊辰150年記念事業にあわせたテーマやバスで郊外を見学するコースを設定し、多くの参加者を得た。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	参加者の固定化が見られるため、新規の参加者が増えるような内容が必要となる。また、歴史・伝統・文化に触れながら街なかを回遊する機会を提供という事業趣旨を踏まえたコース設定を検討することとする。
--	---

状況を示す写真や資料等

【スタンプラリー】

- 春:平成30年4月8日(土)～30日(日)
景品交換者 90名
- 秋:平成30年10月13日(土)～29日(日)
景品交換者 96名

【春のぐるり白河文化遺産ツアー】

- テーマ:「白河大戦争」作者とめぐる白河の戊辰戦争
- 開催日:平成30年4月14日(土)
- 参加者:46名

【秋のぐるり白河文化遺産ツアー】

- テーマ:あなたの知らない狛犬の世界
～石工・小松寅吉の作品群～
- 開催日:平成30年10月13日(土)
- 参加者:73名



物語の舞台となった稲荷山で作者の解説を聞く参加者(平成30年4月14日)



狛犬を前にツーリズムガイドの解説を聞く参加者(平成30年10月13日)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
白河の歴史・文化再発見事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	白河の歴史や文化について知識や見聞を広め、興味を喚起するとともに、自分の生まれ育った白河を愛する心を育てるため、市内の小学2年生から中学2年生を対象に、「白河歴史教科書」を活用しながら、白河の歴史や伝統文化について体験的な学習を系統的に行う。平成27年度からは、小学1年生から中学3年生まで対象を拡大して実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
白河の歴史や伝統文化等について各学年ごとにテーマを設け、白河茶道連盟、白河語りの会、白河観光物産協会、白河市文化財課学芸員等の協力を得ながら学習を行った。また、学習成果をまとめ、市立図書館に展示したり、伝統芸能を発表したりするなど発信する活動に力を入れ、今年度より中学校の市長フォーラムも発表の場とした。また、小・中学校とも「白河歴史の手引き『れきしら』」の活用を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		学習内容の充実に伴い、年々協力団体・機関の負担が大きくなり、日程の調整が難しくなっている。また、取組の形骸化を防ぐためにも、各校の独自性を発揮したり、実施内容の精選・重点化等を図ったりしていくことが必要である。	
状況を示す写真や資料等			



小学5年生 翠楽苑での茶道体験
(平成30年11月21日)



教員研修「小南湖」
教員対象の研修を実施し、児童生徒の指導に生かす
(平成30年7月31日)



小学3年生の古民家「鈴木家住居」見学
(平成30年11月22日)



市長の話を聞く小学生たち
(平成30年8月6日)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
文化財の修理(整備を含む)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財の状況を常に把握した上で、法令に基づき適切な保存を図るとともに、計画的な修理・整備を行う。また、専門的な指導・助言を得ながら、文化財が持つ歴史的価値の保持に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①国指定史跡「白河関跡」を構成する要素である「白河神社」の屋根が劣化しているため修繕を支援した。
- ②福島県指定重要無形民俗文化財「奥州白河歌念仏踊」の衣装新調に支援を行った。

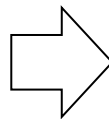
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	指定文化財所有者の要望をいち早く把握しながら、文化財を後世に伝えられるよう支援に努めたい。

状況を示す写真や資料等

①国指定史跡「白河関跡」内にある白河神社の拝殿屋根等修復事業



修繕前



修繕後

②福島県指定重要無形民俗文化財「奥州白河歌念仏踊」の衣装新調事業



新調された衣装

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財の保存・活用を行うための施設として、歴史民俗資料館、集古苑を設置しており、収蔵史資料の調査分析、保存及び公開を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史民俗資料館では、白河の歴史と文化を通史的に学べる展示を行っている。集古苑では、戊辰戦争150年を記念した特別企画展「戊辰戦争と白河」を開催した。他に、企画展・テーマ展を開催し、年間で計5回の展覧会を開催した。また、特別企画展にあわせ、展示解説会や講演会などを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	施設の老朽化が進行している歴史民俗資料館の改修等について検討していくとともに、平成31年4月にリニューアルオープンする白河集古苑については、市の文化財について紹介する情報発信拠点として効果的な事業の実施を図っていく。
--	--

状況を示す写真や資料等

■歴史民俗資料館

展示内容	会期
平常展示 白河の歴史と文化	通年

■白河集古苑

展示内容		会期
結城家古文書館	阿部家名品館	
重要文化財 白河結城家文書と 中世の美術	企画展 桜・さくら (※29年度から継続)	3/16(金)～5/6(日)
重要文化財 白河結城家文書と 中世の美術	幕末・明治の阿部家3代-正外・正静・正功- ○コーナー展示 大名の装束	5/18(金)～6/8(金)
	幕末・明治の阿部家3代-正外・正静・正功- ○特別企画展プレ展示 「150年前の白河と戊辰戦争」	6/9(土)～7/29(日)
特別企画展「戊辰戦争と白河」		8/11(土)～10/8(月)
企画展 はじめての古美術		10/20(土)～12/16(日)

■来館者数

(平成31年3月末現在)
 ○歴史民俗資料館 2,462人
 ○白河集古苑 10,130人
 (うち特別企画展4,863人)



歴史民俗資料館展示「白河の歴史と文化」



学芸員による展示解説会
(特別企画展「戊辰戦争と白河」)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

文化財の防災

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

文化財防火デーに併せた火災防御訓練の実施や訓練への住民参加に積極的に取り組み、所有者のみならず周辺住民の文化財防災に関する意識向上を図る。また、盗難に対する施設内の設備の現状確認を実施し、盗難予防に対する意識付けを強化していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーに併せ、市指定重要文化財(建造物)「鈴木家住居」(表郷)において、火災防御訓練を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者や地域住民と連携して日常管理体制の再確認に努め、さらなる防犯体制の強化の必要性について注意を喚起する。

状況を示す写真や資料等

○文化財火災防御訓練

- ・日 時 平成31年1月25日(金) 10時30分～
- ・場 所 鈴木家住居(表郷)
- ・訓練内容 火災防御訓練、消火栓設備の確認説明
- ・参加者 白河市消防署表郷分署、白河市消防団表郷方面隊、白河市職員



放水の様子

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

文化財の保存及び活用の普及・啓発

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

文化財を広く市民へ公開し、文化財保護精神の普及・啓発を図るため、ホームページを通じて指定文化財を分かりやすく紹介するほか、文化財の誘導・説明板の設置を進める。また、出前講座や各団体の学習会等に積極的に講師派遣を行うなど、文化財に対する知識・理解の高揚に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

小峰城跡では、石垣修復現場の一般公開を行った。市内の小・中学校で実施している「白河の歴史 再発見！事業」において、小峰城跡災害復旧現場の見学および白河集古苑の展示解説を行うとともに、出前講座に文化財課職員を講師として派遣し、文化財の普及・啓発に努めた。また、昨年度に引き続き、「歴史民俗資料館 美術・古文書講座」を開催し、文化財・歴史資料一般や、白河の歴史・文化について学ぶ機会を設けた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

石垣修復現場の公開については、今後も修復の進捗に応じて機会を設けていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

○小峰城石垣修復状況一般公開

- ・石垣修復の終了後、公開していなかった本丸西面・北面の一般公開(10月14日開催)を行った。

参加者数 394人

※現在も整備作業を行っていることから、平成33年度の公開を目指している。

○白河の歴史・文化再発見事業

- ・小峰城跡・集古苑見学者数

市内15校の小学校6年生を対象に公開を行った。

参加児童数 574人

- ・出前講座

市内8校の中学校へ職員を派遣し、出前授業を行った。

開催内容 白河の歴史・白河の古代・小峰城の歴史・

南湖公園の歴史・松平定信の業績

開催回数 のべ16回

参加生徒数 1,094人

○歴史民俗資料館「美術・古文書講座」

- ・平成30年12月～31年2月の期間中に2講座(のべ10回)開講

- ・受講者数 56人(2講座合計)



小峰城石垣修復状況一般公開
(平成30年10月14日)



歴史民俗資料館「美術・古文書講座」
(平成30年12月18日 古文書講座)



白河の歴史・文化再発見事業
「小峰城跡本丸南面等石垣修復状況見学」(平成30年6月26日 白河第一小学校6年生)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
歴史刻んだ蔵座敷再生	平成30年4月16日	福島民友新聞
文化の高さ分かる建築物	平成30年4月21日	みんゆうジュニア情報局
白河集古苑 企画展始まる	平成30年5月20日	福島民報新聞

評価対象年度 平成30年度

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

歴史刻んだ蔵座敷再生

旧脇本陣柳屋旅館

白河で市長ら記念式典

修復工事が完了し、14日から一般公開が始まった白河市の旧脇本陣柳屋旅館蔵座敷。現地で同日行われた記念式典では、往時の姿が再現された蔵座敷を通し、出席者が白河の歴史に思いをはせた。

式典には関係者ら約40人が出席。鈴木和夫市長が「足元の資源を生かした地域振興を進めていきたい」とあいさつ。杉野彦興土木部長、筒井孝充市議



明治天皇が利用した当時の姿が再現された内部

会議長が祝辞を述べた後、関係者がテープカットを行い、蔵座敷の「再生」を祝った。

式典後は、関係者が玉座の間や和室など内部を見学。資料はできる限り再利用されており、参加者は、戊辰戦争の際に新選組が滞在したとの記録も残る蔵座敷が刻んできた200年を超える歴史の重みを感じ取った。

蔵座敷は隣接する掘工場内の管理入を通じて無料で見学できる。また、有料で貸館も行っている。開館時間は午前10時から午後4時で、月曜休館。問い合わせや貸館の申し込みは市まちづくり推進課(電話0248・22・1111)へ。

修復工事を完了を祝いテープカットする関係者ら

旧脇本陣柳屋旅館建造物蔵座敷竣工記念式典(平成30年4月16日 福島民友新聞)

文化の高さ分かる建築物

白河旧脇本陣柳屋旅館蔵座敷

ふんか たか わ

わかる福島

白河の蔵座敷は、戊辰戦争の際に新選組が滞在したとの記録も残る蔵座敷が刻んできた200年を超える歴史の重みを感じ取った。

蔵座敷は隣接する掘工場内の管理入を通じて無料で見学できる。また、有料で貸館も行っている。開館時間は午前10時から午後4時で、月曜休館。問い合わせや貸館の申し込みは市まちづくり推進課(電話0248・22・1111)へ。

修復工事を完了を祝いテープカットする関係者ら

旧脇本陣柳屋旅館建造物蔵座敷の紹介(平成30年4月21日 みんゆうジュニア福情報局)

白河集古苑 企画展始まる

来月8日まで

阿部家三代 当主に焦点

正外、正静、正功

白河市歴史民俗資料館・白河集古苑の「幕末・明治の阿部家三代―正外(まさと)・正静(まさきよ)・正功(まさたか)―」は、18日同施設で始まった。六月八日まで、阿部家は江戸時代後一十八代正功所用の大名の約四十年にわたり、白河藩主を務めた。今、礼装は、子爵の位を賜回は幕末から明治時代、つた阿部家が襟と袖の激動期に当主を務め、色に浅黄色が用いられ三人にスポットを当てていることが分かる。

「鷹羽紋入羅紗地綴附 火事兜(たかのほもん いりらじょじこうつ)に重用され、外国奉行さかじかぶと」も正や町奉行などを歴任した。「寿」の一字書館。入館料は大三百を展示している。正外、二十円、小中学生二百の長男十七代の正静、土曜日は小学生七高の五言絶句などもあ、校生は無料。問い合わせは市文化財課、電話0248(27)2310。開館は午前九時から午後四時。月曜日は休へ。

阿部家の大礼服などを展示している企画展

正功所用の「鷹羽紋入羅紗地綴附火事兜」

白河集古苑企画展(平成30年5月20日 福島民報新聞)

評価軸⑤-2
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
白河の歴史・文化発表	平成30年8月8日	福島民友新聞
市街地歩き景観学ぶ	平成30年9月15日	福島民友新聞
住居ふすまに絵師描く	平成30年12月24日	福島民報新聞

評価対象年度 平成30年度

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



小学生の「学びの集い」
(平成30年8月8日)

白河の歴史・文化発表
学びの集い 児童ら意見交換

同業者は同市の小、中学 歴史や文化をどうして互
 生に地域に誇りを持つてもいい紹介しよう。参加し
 ららうと市教委が推進して
 た児童らはそれぞれの発表
 いる。集いは、各小学校の
 を通し、中各地で伝わる
 伝に理解を深めた。

集いは、平成100周年記
 念事業として開催。市文化
 財課の内野大さんが「白
 河と戊辰戦争」を題材に配
 和夫市長が「ふすまを知
 り、ふすまを愛せよう」
 とメッセージを述べた。



市内を回る児童ら

市街地歩き景観学ぶ
 白河市は7日、市立図書
 館などで景観学習事業を行
 った。白河一小的の6年生約
 50人が参加し、町づくりの
 基礎となる景観について理
 解を深めた。

講師を務めた日大工学部
 の市岡綾子専任講師による
 景観に関する講義が行われ

景観学習事業
(平成30年9月15日
福島民友新聞)



住居ふすまに絵師描く 白河・きょうまで

絵師が、一般の家や 歴史的風致形成建造物
 店舗のふすまに絵を描く 指定されている。建
 く「ふすまプロジェクト」を所有する松岡隆男
 クトが白河市の会津 さんが同市の会津と平
 屋敷物産館で行われて 和を願い「土を舞い
 いる。二二日から三 ながら市内を見守る
 十四日まで三日間か 産」をテーマに福井さ
 け、同市の上空を舞う んに依頼した。初日は、
 電の絵図が描かれる。 住居一階にある、ふす
 フロントは、京都市 ま六枚に迫りあられる
 北野、京都府手市市 産が描かれた。壁の壁
 の絵師福井安紀さんの かつ、細部まで綿密に
 共同在問。江戸時代の 描き分けた。産の見下
 町絵師が「宿一飯の恩 らす街並みには小峰城
 園に、ふすまに絵を描 や南禅公園、那須連峰
 いたとされる産を元 などが描かれる。
 に二年前から同産 地から依頼を受けて行
 っている。
 会津屋敷物産館は一
 九一五(大正四)年建
 築の住居や作業場計三
 棟からなり、白河市の

歴史的風致形成建造物の活用
(平成30年12月24日 福島民報新聞)

評価軸⑤-3
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
より良い街づくり探る	平成30年10月6日	福島民報新聞
しらかわ検定に210人	平成31年1月28日	福島民報新聞
小峰城の石垣修復の舞台裏	平成31年2月7日	NHK はまなかあいづToday

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

より良い街づくりをテーマに意見を交わした鈴木市長(左)と表郷中の生徒

中学生と市長懇談 白河で未来フォーラム

鈴木和夫白河市長が中学生と市政について懇談する「市長と語る「しらかわ未来フォーラム」」は四日、市内の表郷中などで始まった。十九日まで市内の全八校で実施する。公職選挙法の一部改正で選挙権年齢が十八歳以上に引き下げられたことに伴う主権者教育の一環で、今年で三回目。

表郷中では全校生徒と教職員合わせて約二百人が参加した。各学年の代表者が登壇し、白河をより良い街にするためのアイデアを発表した。「地域の人から伝統文化を学ぶ授業を充実させる」「スポーツ選手育成に力を入れ、白河からオリンピック選手を輩出する」「高齢者や障害のある人と触れ合う機会を増やす」などの意見が出た。発表内容に関する質疑応答も行われ、生徒同士が意見を交わした。鈴木市長は発表内容を踏まえ、地域ぐるみで支え合いながら生活することの大切さなどを講話した。

初日は五箇中と天信中でも開かれた。十五日に白河南、東北、白河二の三校、十九日に東、白河中央の両校でも繰り広げられる。

中学生「市長フォーラム」
(平成30年10月6日 福島民報新聞)

しらかわ検定に210人

合格目指し 50問に挑戦

白河市の立地検定 級は二十五問以上、「しらかわ検定」は二級は四十問以上正解十六日、西郷村の東京第一ホテル新白河で行われた。白河藩最後の藩主阿部家が移封された藩は、かつて河だるま市は、かつて市史や文化を見つめ直し、郷土愛を育んでもらおうと、二〇一六(平成二十八)年度から毎年実施している。難易度別の一級、二級、三級に分かれて実施した。問題は四者択一方式で五十問出題され、三、

白河市の立地検定 級は二十五問以上、「しらかわ検定」は二級は四十問以上正解十六日、西郷村の東京第一ホテル新白河で行われた。白河藩最後の藩主阿部家が移封された藩は、かつて河だるま市は、かつて市史や文化を見つめ直し、郷土愛を育んでもらおうと、二〇一六(平成二十八)年度から毎年実施している。難易度別の一級、二級、三級に分かれて実施した。問題は四者択一方式で五十問出題され、三、

第3回しらかわ検定
(平成31年1月28日 福島民報新聞)

項目

歴史的資源案内多言語化事業

計画に記載している内容 歴史的建造物の所在する町並みや文化財を繋ぐ回遊性の向上を図り、地域の歴史的・文化的資源の価値を知ってもらう機会の創出に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

重点区域内の旧奥州街道沿いを中心に所在する歴史的風致形成建造物には説明文を記した標識を掲げているが、これを多言語化して市ホームページに掲載し、今後増加が見込まれる訪日外国人観光客の受入環境を整備した。
表示した言語:日本語、英語、中国語(繁体字)、中国語(簡体字)、韓国語 / 表示した建造物:43件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



白河までのアクセス

東北新幹線
東京から新白河:1時間15分
仙台から新白河:1時間

東北自動車道
浦和インターチェンジから白河インターチェンジ
浦和インターチェンジから白河中央スマートインターチェンジ
仙台南インターチェンジから白河中央スマートインターチェンジ
仙台南インターチェンジから白河インターチェンジ

飛行機
大阪から福島空港:1時間30分
札幌から福島空港:1時間20分
※福島空港～白河市街:自動車で30分



白河市歴史的資源案内 (仮)

マップで探す カテゴリで探す 地域で探す 白河までのアクセス

イメージ写真等

マップで探す

カテゴリで探す
店舗 建造物群 建造物 蔵・倉庫

地域で探す
愛宕町 旭町 一番町 円明寺 横町
天神町 田町 道場小路 道場町 南港

- 上の片野原建造物群
- 藤屋建造物群
- 今井醤油建造物群
- 仁平餅店建造物群
- 旧脇本陣柳屋旅館建造物群
- 流木茶舗建造物群
- 大谷忠吉本店(白陽酒造)建造物群
- 奈良屋呉服店建造物群
- 大谷家住宅建造物群
- 千駒酒造建造物群
- 松井薬局建造物群
- 亀平商店建造物群
- 松河屋建造物群
- 松島家蔵座敷建造物群
- 会津屋建造物群
- 小峰城外堀土塁跡及び林家住宅建造物群
- 遠藤家住宅建造物群
- 白河ハリストス正教会
- 共栄亭
- 丹羽長重廟
- 鹿嶋神社跡身門及び回廊
- 鹿嶋神社別当殿勝観音堂
- 小南郷(白河藩大名家墓所)
- 櫻井呉服店建造物群
- 根本家住宅建造物群

ホームページ画面

項目

歴史まちづくりニュースレターの発行

計画に記載している内容 整備を行った歴史的風致維持向上施設については、その施設が持つ価値を向上させるために、積極的に公開・活用を行う。また、これらの資源の価値を周知する機会を創出し、歴史的風致の維持・向上に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史まちづくり計画の意義とこれまでの取り組み事例を市民に報告するため、ニュースレター(A3、二つ折り、カラー)を作成し、全戸配布するとともに、関係機関の窓口等に配置した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

■歴史を感じる街歩きが楽しめます

白河市には、旧奥州街道沿いのまち並みの他に、広域下町の発展を促した藩や商家等の歴史的な建築物が多く残っています。さらに、歴史まちづくり事業で整備した各地域に加え、歴史的な町・寺の指定文化財など、街歩きに様々な歴史的資源が点在しています。

■近代藩主が眠る小南園と女月山からの眺望

＜小南園(しょうなんこ)公園＞
小南園と呼ばれる園地を中心に、自然を楽しめるスポットです。
園の谷地に沿って、初代藩主丹羽長重、松平(納戸)家、松平(奥平)家などの墓所があり、一帯は昔の気遣いに感じられています。平成28年には丹羽長重墓の修復工事を行い、平成30年3月までに駐車場や園地などの整備が完了し、より散策を楽しめるようになりました。



＜女月山(めづきざん)公園＞
菅沼田川沿いの女月山公園は、除物類を蓄んでいた漢語博士高橋(高橋)が分譲田川沿いの小さな庄屋を購入して築き、明治44年(1911)に「女月山公園」と名づけて一般に開放したものです。
山頂からは、小幡城や市街地が果敢と見渡せる眺望が開けています。また、平成24年に休憩施設を整備しました。

(中央「街歩き城下町地図」中の◎、◎参照)



歴史まちづくり
ニュースレター

～白河市の歴史まちづくりの取り組みを報告します～

白河市では、様々な角度から重要な施策により「まちづくり」に取り組んでいます。

平成25年11月 白河市歴史まちづくり推進計画策定
平成26年11月 白河市歴史まちづくり推進計画(アクションプラン)策定
平成27年11月 白河市歴史まちづくり推進計画(アクションプラン)策定
平成28年11月 白河市歴史まちづくり推進計画(アクションプラン)策定

都市基盤の整備
中心市街地活性化推進計画
中心市街地活性化推進計画(アクションプラン)策定
中心市街地活性化推進計画(アクションプラン)策定

景観形成
景観形成推進計画(アクションプラン)策定
景観形成推進計画(アクションプラン)策定

中心市街地活性化
中心市街地活性化推進計画(アクションプラン)策定
中心市街地活性化推進計画(アクションプラン)策定

それぞれの役割分担と連携

歴史の風致の維持・向上

歴史まちづくりの分野では、小幡城と旧城下町を中心としたエリアで、歴史・文化・伝統を守り、より良い形で継承するための、事業を実施しています。

街歩き城下町 吉地図を使って

1600年代に、初代白河藩主丹羽長重が城下町を再整備現在につながる市街地の基盤が築かれました。
奥州街道沿い(赤く塗られた区域)に町屋が配置され、下町として発展してきました。
旧奥州街道沿いの町割りや、原形をどめられた形で引き継がれているのが見られます。
街なかにも多くの歴史的資源を活かすため、白河市が実施した事業をご紹介します。



【凡例】
● 歴史まちづくり事業で整備した施設
● 路線
● 歴史的風致形成建築物
※建築物の説明文が書かれた欄が掲載されています。

白河市歴史まちづくり推進計画
白河市歴史まちづくり推進計画(アクションプラン)
白河市歴史まちづくり推進計画(アクションプラン)
白河市歴史まちづくり推進計画(アクションプラン)

平成31年3月発行
白河市建設部まちづくり推進課
〒961-8602 福島県白河市八幡小路7番地1
電話 0248-22-1111(代表)

【歴史的風致の維持向上に関する事業として実施した事業】
① 小幡城跡本丸、二の丸石垣修復事業
② 小幡城遺構門遺構整備事業
③ 景観性化事業(主要地方道白河市街線)
④ 無線性化事業(都市計画道路白河町白河線)
⑤ 旧藩本陣跡跡地整備事業
⑥ 丹羽長重周回整備事業
⑦ 小南園公園整備事業
⑧ 都市計画道路一帯町大工町線整備事業
⑨ 都市計画道路乙郷線プロムナード整備事業
⑩ 休憩施設(女月山)整備事業

評価対象年度	平成30年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 白河市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成31年3月28日	
<p>(コメントの概要)</p> <p>評価軸②-2 景観計画の活用(3ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 景観計画推進区域(城下町推進区域)は今後、重点区域となるのか。 ・ 国道294号バイパスが整備されるにあたり、観光客等の流れを考えると案内表示の設置等が有効であると思われるが、工事区間である田町景観まちづくり協議会であわせて検討してはいかがか。 <p>評価軸③-5 旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業(9ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該事業は、周辺(屋台会館、ポケットパーク)との一体整備が図られ、ハード事業としては先導的な事業であると理解しているが、今後、利活用の拡大については「どのように考えているのか。 ・ 地元住民と連携して利活用を考えてはいかがか。 ・ 利活用拡大についてソフト事業として歴史まちづくり計画に新たに記載してはいかがか。 <p>評価軸③-6 屋外広告物景観影響調査等事業(10ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外広告物景観影響調査等事業は今後どのように進めていくのか。 <p>評価軸③-7 無形民俗文化財活動記録作成事業(11ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記録の活用はされているのか。 ・ 継承の仕組みと実践する受け皿を作ることが求められる。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハード事業として拠点の整備は進んだが、これらを活用した回遊性の向上は取り組み方や効果の検証が難しいと思う。→ 取り組みの実例を報告 	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>評価軸②-2 景観計画の活用(3ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現段階で推進区域を重点区域に変更する予定はないが、重点的に景観形成を推進するため、重点区域とするかどうかも含めて検討していく。 ・ 当該バイパスが完成した際、田町は白河市街地への玄関口となることから、景観形成の重要性への理解を深めていく。また、案内表示は適切に設置されるよう進めていく。 <p>評価軸③-5 旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業(9ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貸館の使用範囲を検討し、利用頻度の向上を検討する。 ・ 地元住民と連携して、蔵座敷を含めた歴史的資源を活用する手法を地元住民と連携して協議していく。→ 本町地区まちづくり協議会との連携 <p>評価軸③-6 屋外広告物景観影響調査等事業(10ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガイドラインの内容について更なる周知を図る。違反状態のものについては、屋外広告物改修等事業補助金を活用して適正な状態に改修するよう誘導する。 <p>評価軸③-7 無形民俗文化財活動記録作成事業(11ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現段階では記録のみであるため、外部に提供可能なアーカイブとして編集するよう努める。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的建造物の所在する町並みや歴史まちづくり計画で整備した歴史的資源等を街なか回遊拠点として活用し、歴史的、文化的資源の価値を再認識する機会の提供に努める。 ・ 市民や白河を訪れる人の誰もが白河の歴史、伝統、文化を感じながら楽しく回遊し、憩うことのできる本市の魅力を広く発信し、歴史的風致の維持向上を図る。 	